



長崎税関貿易統計【特集】



(資料提供：長崎税関)

令和2年3月19日
長崎税関

特集

長崎県の輸出船舶について
～令和元年、長崎県が全国第一位～



はじめに

長崎県の造船の歴史は古く、造船業は本県の基幹産業となっています。

県南地域の造船業は、安政4(1857)年、徳川幕府が設立した我が国初の艦船修理工場である「長崎鋸鉄所」がはじまりとなっています。その後、「国营造船所」として明治政府に引き継がれて、明治17(1884)年に民間企業が事業を継承しました。一方、県北地域では、明治22(1889)年、佐世保鎮守府に造船部が設置され、終戦後の昭和21(1946)年に民間企業へ事業を継承したほか、昭和48(1973)年には、炭鉱閉山後の企業誘致の結果、新たな造船所も設立されています。

本特集では、長崎県の主要輸出品目となっている「船舶」について、最近10年間の統計データをもとにまとめてみました。

※本文では、下表の分類で表記しており、詳細は後段の(注)1に表記しています。

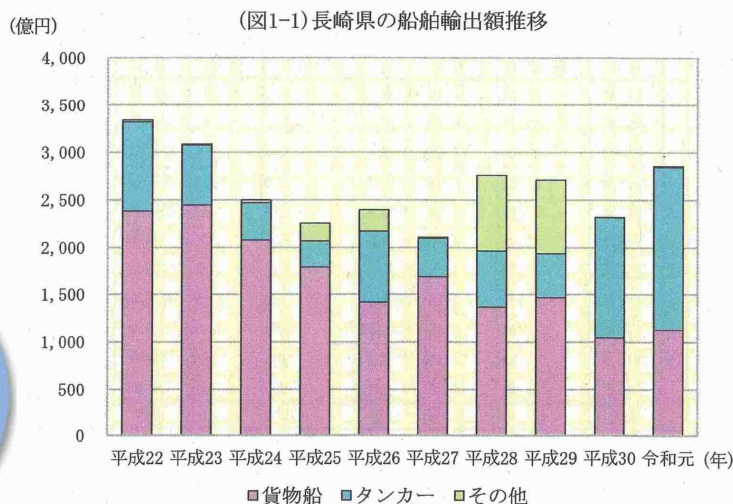
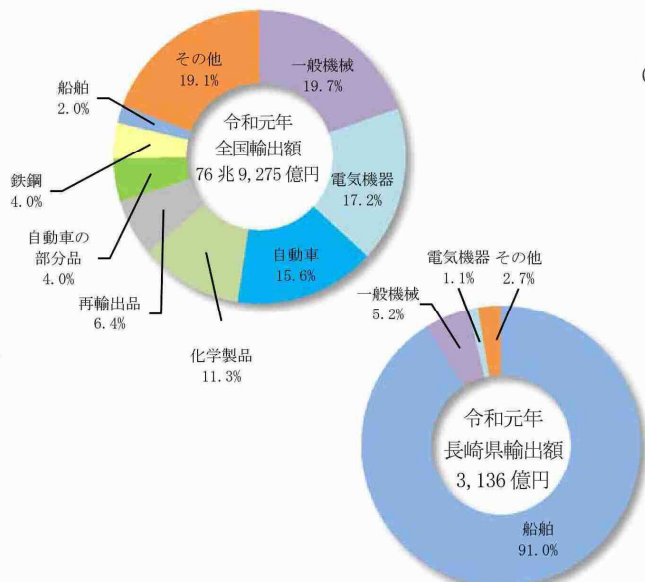
本特集での分類	主な品名
貨物船	石炭運搬船、鉄鉱石運搬船、コンテナ船、自動車運搬船など
タンカー	オイルタンカー、LPGタンカー、LNGタンカーなど
その他	客船、資源探査船、漁船、ヨット、作業船など

1. 長崎県の輸出動向

令和元年における全国の船舶の輸出額は1兆5,038億円と、輸出総額の2.0%を占めています。一方、長崎県の船舶の輸出額は2,855億円と、輸出総額の91.0%を占めており、全国と比較して船舶の占める割合が非常に高く、県内の産業において造船業は大きなウエイトを占めています。

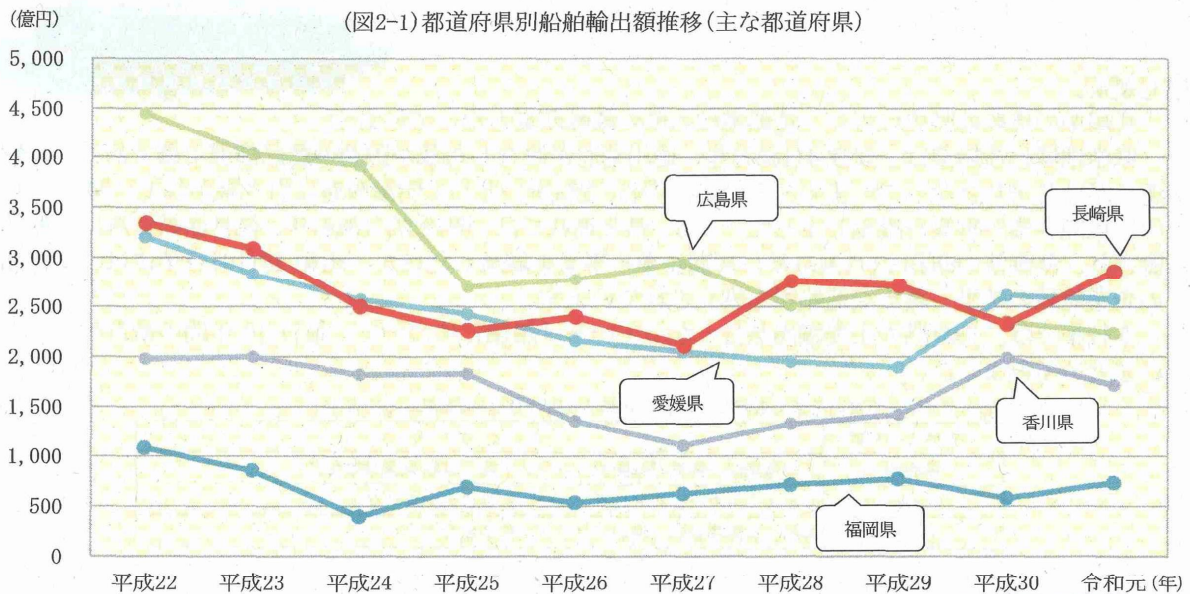
最近10年間の長崎県における船舶の輸出額は、平成22年の3,342億円をピークに平成23年からはリーマン・ショックの影響などを受けて概ね減少傾向で推移し、平成27年には2,111億円まで減少しました。その後、平成28年からは資源探査船や客船、LNGタンカーといった高付加価値船が輸出されたことから、概ね増加に転じて2,300億円台～2,800億円台で推移し、令和元年は2,855億円(対前年比123.0%)となりました。

船種別にみると、平成22年は貨物船が2,384億円、タンカーは937億円と船舶の輸出額に占める割合は、貨物船が約7割を占めていました。令和元年は、貨物船が1,128億円と平成22年と比較しほぼ半減となりましたが、タンカーは1,717億円と約2倍となり、船種別に占める割合も貨物船の占める割合が全体の約4割まで減少し、タンカーは約6割まで増加しています。(図1-1)【付表】



2. 都道府県別の輸出動向

最近10年間の県別の船舶の輸出額をみると、長崎県、愛媛県、広島県の3県で全国の約5割を占めています。長崎県は常に上位3位以内で推移し、平成28年には2,761億円で、平成16年以来12年ぶりの“全国第一位”となり、その後、平成29年に2,711億円、令和元年は2,855億円と“全国第一位”となっています。(図2-1、図2-2)【付表】



(図2-2) 都道府県別船舶輸出額推移

順位	平成22年			平成23年			平成24年			平成25年			平成26年		
	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比
1	広島県	4,452	19.5%	広島県	4,031	19.4%	広島県	3,915	22.1%	広島県	2,698	18.0%	広島県	2,778	20.3%
2	長崎県	3,342	14.7%	長崎県	3,087	14.9%	愛媛県	2,569	14.5%	愛媛県	2,424	16.1%	長崎県	2,397	17.5%
3	愛媛県	3,205	14.1%	愛媛県	2,830	13.6%	長崎県	2,500	14.1%	長崎県	2,258	15.0%	愛媛県	2,158	15.8%
4	香川県	1,976	8.7%	香川県	1,996	9.6%	香川県	1,817	10.2%	香川県	1,827	12.2%	香川県	1,352	9.9%
5	岡山県	1,157	5.1%	大分県	1,295	6.2%	大分県	880	5.0%	福岡県	691	4.6%	佐賀県	644	4.7%
6	大分県	1,126	4.9%	神奈川県	1,207	5.8%	岡山県	794	4.5%	佐賀県	619	4.1%	福岡県	537	3.9%
7	福岡県	1,082	4.7%	岡山県	899	4.3%	三重県	604	3.4%	岡山県	586	3.9%	大分県	499	3.6%
8	神奈川県	933	4.1%	福岡県	853	4.1%	愛知県	588	3.3%	大分県	510	3.4%	岡山県	499	3.6%
9	兵庫県	850	3.7%	千葉県	691	3.3%	神奈川県	556	3.1%	三重県	463	3.1%	千葉県	447	3.3%
10	山口県	818	3.6%	兵庫県	580	2.8%	佐賀県	544	3.1%	神奈川県	453	3.0%	三重県	425	3.1%
	その他	3,853	16.9%	その他	3,276	15.8%	その他	2,974	16.8%	その他	2,480	16.5%	その他	1,940	14.2%
	全国	22,795	100.0%	全国	20,745	100.0%	全国	17,741	100.0%	全国	15,007	100.0%	全国	13,674	100.0%

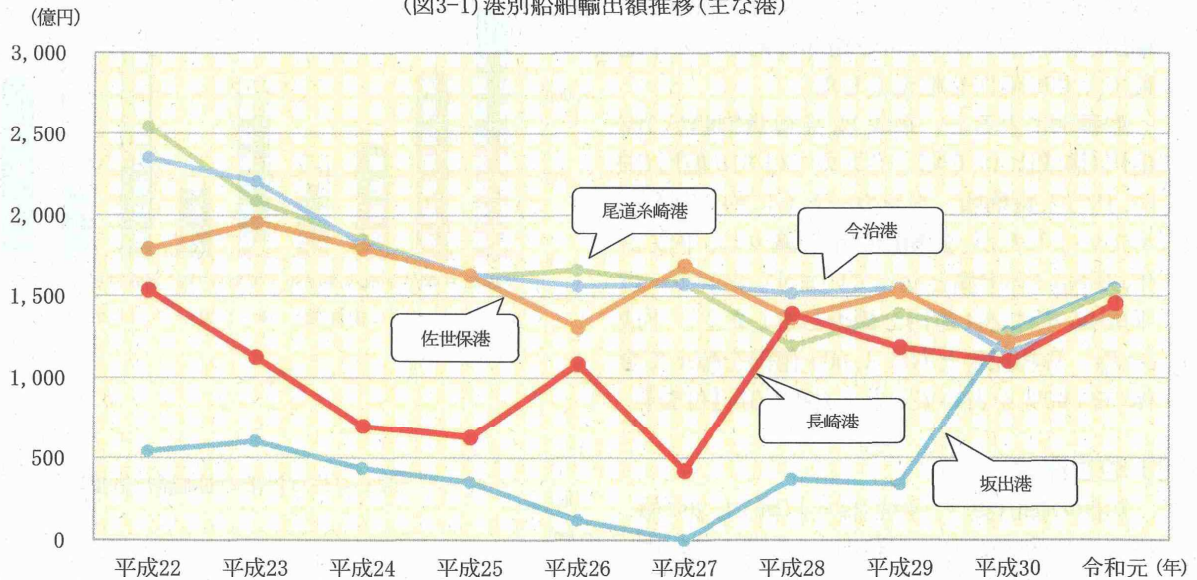
順位	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年		
	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比	県名	金額(億円)	全国比
1	広島県	2,954	21.4%	長崎県	2,761	19.8%	長崎県	2,711	19.7%	愛媛県	2,612	18.8%	長崎県	2,855	19.0%
2	長崎県	2,111	15.3%	広島県	2,511	18.0%	広島県	2,673	19.4%	広島県	2,347	16.9%	愛媛県	2,571	17.1%
3	愛媛県	2,048	14.9%	愛媛県	1,949	14.0%	愛媛県	1,893	13.7%	長崎県	2,322	16.7%	広島県	2,230	14.8%
4	香川県	1,108	8.0%	香川県	1,327	9.5%	香川県	1,422	10.3%	香川県	1,984	14.3%	香川県	1,712	11.4%
5	福岡県	627	4.5%	福岡県	716	5.1%	福岡県	771	5.6%	大分県	642	4.6%	福岡県	731	4.9%
6	千葉県	621	4.5%	大分県	658	4.7%	大分県	674	4.9%	福岡県	578	4.2%	三重県	703	4.7%
7	佐賀県	573	4.2%	佐賀県	638	4.6%	佐賀県	609	4.4%	神奈川県	493	3.5%	佐賀県	685	4.6%
8	大分県	571	4.1%	愛知県	480	3.4%	岡山県	591	4.3%	佐賀県	425	3.1%	大分県	521	3.5%
9	三重県	481	3.5%	岡山県	472	3.4%	山口県	479	3.5%	岡山県	418	3.0%	兵庫県	520	3.5%
10	岡山県	469	3.4%	青森県	466	3.3%	青森県	373	2.7%	青森県	377	2.7%	山口県	411	2.7%
	その他	2,228	16.2%	その他	1,990	14.2%	その他	1,571	11.4%	その他	1,723	12.4%	その他	2,099	14.0%
	全国	13,791	100.0%	全国	13,969	100.0%	全国	13,766	100.0%	全国	13,922	100.0%	全国	15,038	100.0%

3. 長崎県内の港別輸出動向

長崎県における船舶の主な輸出港は、長崎港及び佐世保港となっており、全国の港別輸出額では上位を占め、長崎港は概ね10位以内、佐世保港は5位以内で推移しています。平成28年、29年、令和元年は長崎港、佐世保港ともに上位5位以内を維持しており、長崎県“全国第一位”に大きく貢献しました。

なお、長崎港及び佐世保港以外に、対馬の厳原港においても中古漁船を中心とした輸出実績があります。
 (図3-1、図3-2)【付表】

(図3-1) 港別船舶輸出額推移(主な港)



(図3-2) 港別船舶輸出額推移

	平成22年			平成23年			平成24年			平成25年			平成26年		
	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比
1	尾道糸崎	2,545	11.2%	今治	2,206	10.6%	尾道糸崎	1,850	10.4%	今治	1,635	10.9%	尾道糸崎	1,664	12.2%
2	今治	2,352	10.3%	尾道糸崎	2,088	10.1%	今治	1,822	10.3%	佐世保	1,629	10.9%	今治	1,559	11.4%
3	佐世保	1,794	7.9%	佐世保	1,957	9.4%	佐世保	1,798	10.1%	尾道糸崎	1,622	10.8%	佐世保	1,308	9.6%
4	長崎	1,537	6.7%	呉	1,405	6.8%	呉	1,357	7.6%	丸亀	1,370	9.1%	丸亀	1,137	8.3%
5	呉	1,291	5.7%	丸亀	1,202	5.8%	丸亀	1,189	6.7%	新居浜	785	5.2%	長崎	1,082	7.9%
6	丸亀	1,268	5.6%	長崎	1,126	5.4%	因島	705	4.0%	三池	676	4.5%	呉	694	5.1%
7	三池	857	3.8%	千葉	689	3.3%	新居浜	702	4.0%	呉	628	4.2%	伊万里	644	4.7%
8	神戸	841	3.7%	三池	680	3.3%	長崎	699	3.9%	長崎	626	4.2%	新居浜	589	4.3%
9	伊万里	811	3.6%	横浜	606	2.9%	津	604	3.4%	伊万里	618	4.1%	千葉	445	3.3%
10	新居浜	804	3.5%	坂出	603	2.9%	伊万里	543	3.1%	津	463	3.1%	三池	430	3.1%
	その他	8,694	38.1%	その他	8,182	39.4%	その他	6,469	36.5%	その他	4,954	33.0%	その他	4,122	30.1%
	全国	22,795	100.0%	全国	20,745	100.0%	全国	17,741	100.0%	全国	15,007	100.0%	全国	13,674	100.0%

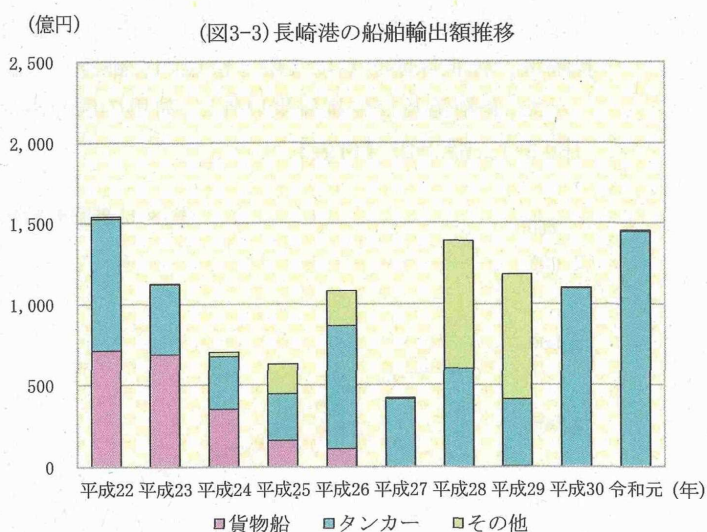
	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年		
	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比	港名	金額(億円)	構成比
1	佐世保	1,686	12.2%	今治	1,516	10.9%	今治	1,545	11.2%	新居浜	1,436	10.3%	坂出	1,548	10.3%
2	尾道糸崎	1,576	11.4%	長崎	1,389	9.9%	佐世保	1,527	11.1%	坂出	1,281	9.2%	尾道糸崎	1,530	10.2%
3	今治	1,569	11.4%	佐世保	1,368	9.8%	尾道糸崎	1,392	10.1%	尾道糸崎	1,257	9.0%	長崎	1,453	9.7%
4	丸亀	981	7.1%	尾道糸崎	1,195	8.6%	長崎	1,184	8.6%	佐世保	1,219	8.8%	今治	1,406	9.3%
5	呉	890	6.5%	呉	1,034	7.4%	呉	861	6.3%	今治	1,151	8.3%	佐世保	1,401	9.3%
6	千葉	621	4.5%	丸亀	912	6.5%	丸亀	855	6.2%	長崎	1,103	7.9%	新居浜	1,139	7.6%
7	伊万里	573	4.2%	伊万里	638	4.6%	三池	611	4.4%	呉	641	4.6%	津	703	4.7%
8	三池	500	3.6%	三池	560	4.0%	伊万里	608	4.4%	丸亀	565	4.1%	伊万里	685	4.6%
9	因島	487	3.5%	八戸	466	3.3%	因島	419	3.0%	因島	449	3.2%	三池	565	3.8%
10	津	481	3.5%	新居浜	389	2.8%	八戸	373	2.7%	伊万里	425	3.1%	神戸	473	3.1%
	その他	4,425	32.1%	その他	4,502	32.2%	その他	4,391	31.9%	その他	4,397	31.6%	その他	4,134	27.5%
	全国	13,791	100.0%	全国	13,969	100.0%	全国	13,766	100.0%	全国	13,922	100.0%	全国	15,038	100.0%

12	長崎	421	3.1%
----	----	-----	------

(1) 長崎港

船舶の輸出額は、平成22年の1,537億円から減少傾向で推移し、平成25年には626億円まで減少しました。平成26年は1,082億円(対前年比172.8%)と増加しましたが、翌年の平成27年は421億円(同38.9%)と大きく落ち込んでいます。平成28年からは、資源探査船や客船、LNGタンカーといった高付加価値船が輸出されたことから、再び増加に転じて4年連続で1,000億円を超えました。

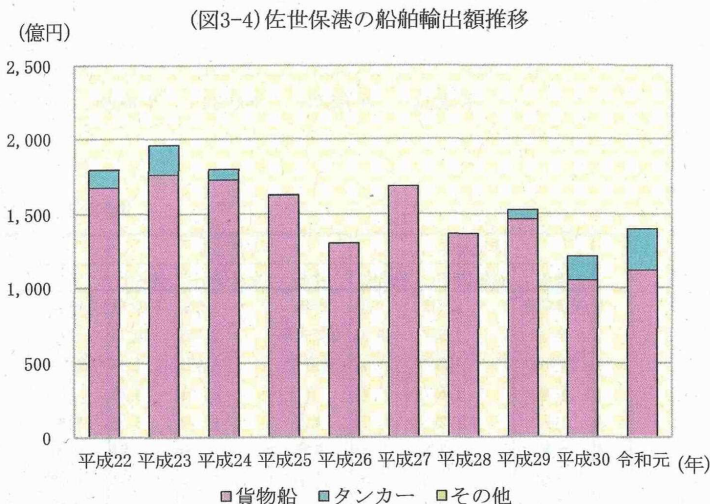
船種別にみると、平成22年は貨物船が708億円(構成比46.0%)、タンカーは816億円(同53.1%)と貨物船、タンカーともに約5割を占めていましたが、貨物船は年々減少し、平成27年以降は1%未満となっています。タンカーは平成25年に284億円と減少しましたが、平成30年、令和元年ともに1,000億円を超えて全体の約99%を占めました。(図3-3)【付表】



(2) 佐世保港

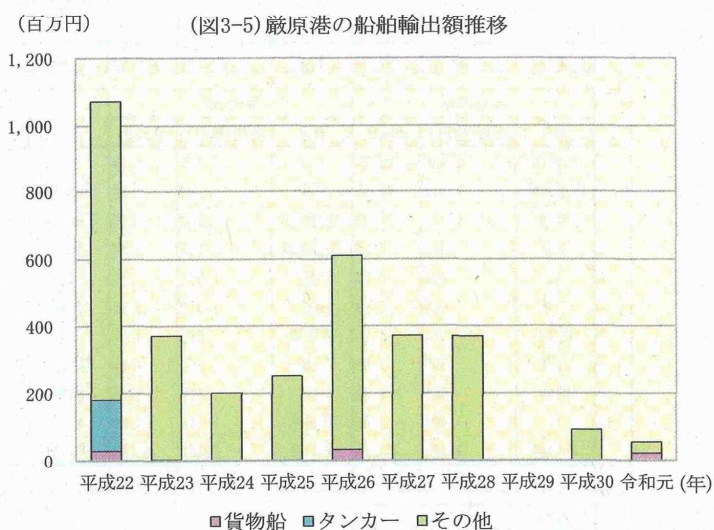
船舶の輸出額は、平成22年以降、1,200億円台~1,900億円台で推移し、全国5位以内を維持しています。平成27年には貨物船の隻数の増加に伴い、港別”全国第一位”となりましたが、その後は増減を繰り返し、令和元年は1,401億円(対前年比115.0%)となっています。

船種別にみると、輸出額の8割以上を貨物船が占め、10年間を通して1,000億円を超えています。令和元年は貨物船が1,128億円(構成比80.5%)、タンカーは273億円(同19.5%)となっています。(図3-4)【付表】



(3) 厳原港

船舶の輸出額は、平成22年に11億円を記録した後、平成23年から平成28年まで2億円台から6億円台で推移しましたが、平成29年以降大きく減少し1億円を下回っています。船種別にみると令和元年は、貨物船が22百万円(構成比40.1%)、漁船などのその他の船舶が33百万円(同59.9%)となっています。(図3-5)【付表】



おわりに

現在、中国や韓国勢の台頭を受け苦境が続いている我が国の造船業は、資本・業務提携などで業界再編を進めて、これらに対抗する動きがあります。長崎県においても、県内の有力な企業間で主力工場に関する協議が進められるなど大きな動きがみられます。

造船業は四面を海に囲まれた我が国にとって、必要不可欠な海上輸送に使用する船舶を安定的に供給し、また、裾野の広い労働集約型産業として地域の経済・雇用にも貢献している非常に重要な産業です。今後も地域経済発展のために、各企業の取り組みに期待したいところです。

(参考資料)

三菱重工業株式会社「沿革：長崎造船所」
株式会社大島造船「大島造船所 30 年小史」
日本船舶海洋工学会西部支部「創業 150 周年を迎えた長崎造船所」
海上自衛隊佐世保地方隊「佐世保海軍工廠～佐世保重工業(SSK)」
国土交通省海事局「海事レポート 2019」

(注) 1. 本特集は、輸出統計品目番号の船舶類(89 類)のうち、下表のものを「船舶」としてまとめたものです。

輸出統計 品目番号	品 名	本特集での 分類
8901. 10	客船、遊覧船その他これらに類する船舶(主として人員の輸送用に設計したものに限り。)及びフェリーボート	その他
8901. 20	タンカー	タンカー
8901. 30	冷蔵船及び冷凍船(第8901. 20号のものを除く。)	貨物船
8901. 90	その他の貨物船及び貨客船	
8902	漁船及び工船その他漁獲物の加工用又は保存用の船舶	その他
8903	ヨットその他の娯楽用又はスポーツ用の船舶、櫓船及びカヌー	
8904	曳航用又は押航用の船舶	
8905	照明船、消防船、しゅんせつ船、クレーン船その他の船舶(航行以外の機能を主とするものに限り。)、浮きドック及び浮遊式又は潜水式の掘削用又は生産用のプラットフォーム	
8906	その他の船舶(軍艦及び救命艇を含むものとし、櫓船を除く。)	

2. 長崎県の数値は、長崎税関(本関)、佐世保税関支署、門司税関厳原税関支署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関合計額。

3. 使用したデータは、平成 22 年～30 年は確定値、令和元年は速報値。

4. 金額及び構成比等は、単位未満四捨五入としているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。

◎本資料を転載する場合は、長崎税関の資料による旨を注記してください。

◎本資料についてのお問い合わせ先及び本資料を掲載するホームページ

長崎税関調査部調査統計課 TEL : 095-828-8659 長崎税関ホームページ<http://www.customs.go.jp/nagasaki/>

【付表】

船種別輸出実績推移(全国)

(単位: 億円)

	船舶				タンカー				貨物船				その他			
	隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成22年	28,080	111.8%	22,795	110.1%	223	0.8%	7,211	31.6%	506	1.8%	15,119	66.3%	27,351	97.4%	464	2.0%
平成23年	30,188	107.5%	20,745	91.0%	153	0.5%	5,432	26.2%	483	1.6%	14,988	72.2%	29,552	97.9%	325	1.6%
平成24年	36,784	121.8%	17,741	85.5%	113	0.3%	2,440	13.8%	500	1.4%	14,611	82.4%	36,171	98.3%	689	3.9%
平成25年	40,259	109.4%	15,007	84.6%	128	0.3%	1,717	11.4%	450	1.1%	12,769	85.1%	39,681	98.6%	521	3.5%
平成26年	39,833	98.9%	13,674	91.1%	112	0.3%	2,325	17.0%	377	0.9%	10,588	77.4%	39,344	98.8%	762	5.6%
平成27年	18,720	47.0%	13,791	100.9%	109	0.6%	2,086	15.1%	402	2.1%	11,144	80.8%	18,209	97.3%	560	4.1%
平成28年	5,832	31.2%	13,969	101.3%	118	2.0%	3,693	26.4%	357	6.1%	8,937	64.0%	5,357	91.9%	1,340	9.6%
平成29年	6,244	107.1%	13,766	98.5%	129	2.1%	3,927	28.5%	315	5.0%	8,663	62.9%	5,800	92.9%	1,177	8.5%
平成30年	5,832	93.4%	13,922	101.1%	147	2.5%	6,442	46.3%	258	4.4%	7,166	51.5%	5,427	93.1%	314	2.3%
令和元年	5,013	86.0%	15,038	108.0%	140	2.8%	6,536	43.5%	294	5.9%	8,283	55.1%	4,579	91.3%	219	1.5%

船種別輸出実績推移(長崎県)

(単位: 億円)

	船舶				タンカー				貨物船				その他			
	隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成22年	122	122.0%	3,342	102.4%	20	16.4%	937	28.0%	56	45.9%	2,384	71.3%	46	37.7%	22	0.7%
平成23年	88	72.1%	3,087	92.4%	10	11.4%	631	20.4%	53	60.2%	2,447	79.3%	25	28.4%	9	0.3%
平成24年	79	89.8%	2,500	81.0%	9	11.4%	391	15.6%	49	62.0%	2,079	83.2%	21	26.6%	30	1.2%
平成25年	85	107.6%	2,258	90.3%	6	7.1%	284	12.6%	43	50.6%	1,785	79.1%	36	42.4%	188	8.3%
平成26年	79	92.9%	2,397	106.2%	5	6.3%	757	31.6%	42	53.2%	1,418	59.2%	32	40.5%	222	9.3%
平成27年	75	94.9%	2,111	88.1%	6	8.0%	413	19.5%	45	60.0%	1,686	79.9%	24	32.0%	12	0.6%
平成28年	79	105.3%	2,761	130.8%	8	10.1%	599	21.7%	45	57.0%	1,367	49.5%	26	32.9%	795	28.8%
平成29年	78	98.7%	2,711	98.2%	8	10.3%	472	17.4%	44	56.4%	1,467	54.1%	26	33.3%	772	28.5%
平成30年	61	78.2%	2,322	85.7%	11	18.0%	1,268	54.6%	37	60.7%	1,047	45.1%	13	21.3%	7	0.3%
令和元年	77	126.2%	2,855	123.0%	16	20.8%	1,717	60.2%	42	54.5%	1,128	39.5%	19	24.7%	10	0.3%

船種別輸出実績推移(長崎港)

(単位: 億円)

	船舶				タンカー				貨物船				その他			
	隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成22年	45	118.4%	1,537	93.1%	13	28.9%	816	53.1%	11	24.4%	708	46.0%	21	46.7%	13	0.8%
平成23年	26	57.8%	1,126	73.2%	6	23.1%	435	38.7%	10	38.5%	685	60.9%	10	38.5%	5	0.5%
平成24年	24	92.3%	699	62.1%	8	33.3%	319	45.6%	7	29.2%	352	50.4%	9	37.5%	28	4.0%
平成25年	27	112.5%	626	89.6%	6	22.2%	284	45.4%	3	11.1%	160	25.6%	18	66.7%	182	29.0%
平成26年	23	85.2%	1,082	172.8%	5	21.7%	757	69.9%	3	13.0%	110	10.2%	15	65.2%	215	19.9%
平成27年	21	91.3%	421	38.9%	6	28.6%	413	98.0%	1	4.8%	0	0.0%	14	66.7%	8	1.9%
平成28年	24	114.3%	1,389	3.3倍	8	33.3%	599	43.1%	-	-	-	-	16	66.7%	790	56.9%
平成29年	28	116.7%	1,184	85.2%	7	25.0%	410	34.6%	1	3.6%	3	0.3%	20	71.4%	771	65.1%
平成30年	18	64.3%	1,103	93.1%	8	44.4%	1,096	99.4%	1	5.6%	0	0.0%	9	50.0%	6	0.6%
令和元年	24	133.3%	1,453	131.8%	11	45.8%	1,444	99.4%	-	-	-	-	13	54.2%	9	0.6%

船種別輸出実績推移(佐世保港)

(単位: 億円)

	船舶				タンカー				貨物船				その他			
	隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成22年	42	116.7%	1,794	112.4%	2	4.8%	119	6.6%	39	92.9%	1,676	93.4%	1	2.4%	0	0.0%
平成23年	47	111.9%	1,957	109.1%	3	6.4%	196	10.0%	43	91.5%	1,762	90.0%	1	2.1%	0	0.0%
平成24年	43	91.5%	1,798	91.9%	1	2.3%	72	4.0%	42	97.7%	1,727	96.0%	-	-	-	-
平成25年	45	104.7%	1,629	90.6%	-	-	-	-	40	88.9%	1,625	99.8%	5	11.1%	4	0.2%
平成26年	38	84.4%	1,308	80.3%	-	-	-	-	37	97.4%	1,307	100.0%	1	2.6%	1	0.0%
平成27年	46	121.1%	1,686	128.9%	-	-	-	-	44	95.7%	1,686	100.0%	2	4.3%	1	0.0%
平成28年	47	102.2%	1,368	81.1%	-	-	-	-	45	95.7%	1,367	99.9%	2	4.3%	1	0.1%
平成29年	48	102.1%	1,527	111.6%	1	2.1%	62	4.0%	43	89.6%	1,464	95.9%	4	8.3%	1	0.0%
平成30年	39	81.3%	1,219	79.8%	3	7.7%	172	14.1%	36	92.3%	1,047	85.9%	-	-	-	-
令和元年	48	123.1%	1,401	115.0%	5	10.4%	273	19.5%	40	83.3%	1,128	80.5%	3	6.3%	1	0.1%

船種別輸出実績推移(厳原港)

(単位: 百万円)

	船舶				タンカー				貨物船				その他			
	隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額		隻数		金額	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成22年	35	134.6%	1,072	69.1%	5	14.3%	153	14.2%	6	17.1%	28	2.6%	24	68.6%	891	83.1%
平成23年	15	42.9%	371	34.7%	1	6.7%	2	0.5%	-	-	-	-	14	93.3%	369	99.5%
平成24年	12	80.0%	201	54.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	12	100.0%	201	100.0%
平成25年	13	108.3%	251	124.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	13	100.0%	251	100.0%
平成26年	18	138.5%	611	2.4倍	-	-	-	-	2	11.1%	32	5.2%	16	88.9%	579	94.8%
平成27年	8	44.4%	371	60.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	8	100.0%	371	100.0%
平成28年	8	100.0%	369	99.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	8	100.0%	369	100.0%
平成29年	2	25.0%	1	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100.0%	1	100.0%
平成30年	4	2.0倍	91	73.0倍	-	-	-	-	-	-	-	-	4	100.0%	91	100.0%
令和元年	5	125.0%	55	60.2%	-	-	-	-	2	40.0%	22	40.1%	3	60.0%	33	59.9%

(注1)船舶は、輸出統計品目番号「89.01」「89.02」「89.03」「89.04」「89.05」「89.06」の通関金額の合計。

(注2)平成22年～30年は確定値、令和元年は速報値。

(注3)「0」は単位未満、「-」は実績なし。

(注4)長崎県の数値は、長崎税関本関、佐世保税関支署、門司税関厳原税関支署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関合計額。